

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年11月7日
作成 高齢者支援センター	忠生第2
作成者	井田 美喜子

1.開催日時	2022年10月27日	(木)	18:00	～	19:00	
2.会場	オンライン開催					
3.主催センター	忠生1	・	忠生2	・		
4.参加人数	18人					
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	6人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	3人	(うち、医師 2人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者	4人	
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民	人
	<input checked="" type="checkbox"/> 町内会自治会	1人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input checked="" type="checkbox"/> 行政	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(障がい事業所、障がい者支援センター 2人)				
6.開催テーマ	支え合いの町忠生「災害と感染症の中での私たちの暮らし」					
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>2年前に開催予定であったが、感染症拡大にともない話し合いができなかった。この2年間において医療・福祉関係者がどのような取り組みをしてきたかの情報共有から課題の抽出をおこなう。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>この2年間の医療・福祉関係者が取り組んできた内容を共有した中で、これからのウィズコロナにおいて有効な感染予防の仕方や介護、ケアの仕方について、医療的な根拠を示した方法を地域で共有し、標準化する必要がある。</p>					
8.会議の内容	<p>前回の振り返りを行った後、今後のウィズコロナについての意見交換を行った。医師より、検温や消毒等の感染対策について、続けた方が良いものと見直した方が良いものがあること。また、高齢者施設等、リスクが高い所ではゼロコロナを目指し、健康者が多い所ではウィズコロナの観点をもち、使い分ける必要があるという話があった。</p> <p>各機関からの報告では対象者の特性や、事業内容の違いでそれぞれ工夫していることや、対応に苦慮している所を情報共有することができた。</p>					
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>今後、インフルエンザとの同時流行や第8波到来の可能性がある中で、次回感染拡大が発生した時に面会制限を行うなど、元に戻すのかを皆で考える必要がある。ゼロコロナを目指しつつ、ウィズコロナの観点で行動できるように、医療的な根拠を持って、オフィシャルで効果的な感染対策を地域住民に伝えていくことができるよう、次回はそれぞれの機関が行っている取り組みを全て上げて、医療的に継続が必要かどうかを検討する。</p>					
10.その他						

医療と介護の連携支援センター 確認日

11月 2日